

高分子学会若手研究者交流促進助成報告書

2021 年 11 月 30 日

公益社団法人高分子学会
会長 秋吉 一成 殿

研究会名称	第14回超分子若手懇談会
主催団体の名称	第14回超分子若手懇談会
開催期間	2021 年 11 月 19 日 (金)
会 場	オンライン開催
主 題 (主題がある場合は記入)	超分子化学の新領域開拓 ―一次世代超分子の構築と応用―
責 任 者	(フリガナ) 氏 名 シゲミツ ハジメ 重光 孟
	所属機関・職名 大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻・助教
参加者数	83 名 (申請時の予定参加者数 50 名)
助成金金額	8,025 円

1. 実施事業の目的

助成対象となった第14回超分子若手懇談会では、超分子化学における最新の研究についての議論を通じて、若手教員・学生の知識向上や交流を図ることを目的とした。本会で超分子化学に関する若手研究者が一堂に会することで、当該分野の現状の課題を議論・共有し、新たな研究展開や共同研究が生まれる契機となることを目指した。また、論文では表現できない研究進展における困難・課題を打破するための取り組みを共有することで、参加者の研究発展のヒントやアイデアの想起およびモチベーション向上も目的とした。

2. 実施事業の内容と成果（若手研究者や学生の交流、女性研究者キャリアアップのための取組みの成果）

超分子若手懇談会は例年、合宿形式で開催していたがコロナ流行を考慮して今回はオンラインで開催した。本会は2021年11月19日に実施し、下記の項目を実施した。

1. 超分子化学に関する研究で世界をリードする若手研究者の講演
2. 学生によるポスター発表
3. オンライン意見交換会

オンラインツールである ZOOM によって講演会およびポスター発表を行い、Spatial Chat にて意見交換会を行った。全国から多くの超分子化学に関連する研究者（教員 16 名、学生 67 名、合計 83 名）が集い、本会は盛会となった。本会では、超分子化学分野で世界をリードする若手研究者である中村貴志助教（筑波大）、青木大輔助教（東工大）、西村智貴助教（信州大）、宮島大吾ユニットリーダー（理研）の 4 名にご講演いただいた。非対称性の環状化合物、高分子のトポロジー制御、機能性高分子ベシクル、パイ共役化合物の一次元状超分子集合について多岐に渡る講演が行われ、質疑応答も活発に行われた。また、学生による 23 件のポスター発表が行われ、研究を介した積極的な交流が行われた。ポスター発表の件数は研究を始めて間もない学部学生による発表であり、教員・学生の双方にとって良い刺激となっていた。

意見交換会においては、オンラインということもあり、交流が難しいことが懸念されたが、想像以上に参加者は交流を深めることができた。論文や講演会では伝わらない、研究進展における困難や工夫についての話を数多く共有することができた。また、教員間のみならず学生間、学生-教員間での新たな交流も生まれ、研究の和が広がった。本会で生まれた繋がりが、若手研究者の新たな研究展開の想起だけではなく、モチベーション向上など、良い影響を及ぼすことを確信している。